

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2023年 2月 1日

事業所名: 児童デイサービスさくら

サービス種類: (例: 児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	・運動や学習時間ごとに機の配置等を変えて適切なスペースの確保するように工夫している。	・はい 11名 ・どちらとも言えない 2名	・特に今必要としない遊具等は片づけて、空間の確保にさらに務める。
	2 職員の適切な配置	・利用者の人数や、子供の状態を考慮して職員の配置数にメリハリをつけています。	・はい 11名 ・どちらとも言えない 1名 ・わからない 1名	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・遊具やゲーム用のカード類はしまう場所を決めて子どもが利用しやすいように工夫している。	・はい 13名	・子どもたちに自分たちが使う道具は、できる限り自分たちで管理するように、指導している。今後も守る。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・普段から掃除等、徹底しているがコロナ禍の現在は特に、室内や遊具の消毒を念入りに行っている。	・はい 13名	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	・各種の行事事等の振り返りや、評価を行い改善に努めている。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	・受けていない。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	・コロナの影響で、制限はあるが外部研修にも機会があれば受けるようにしている。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・モニタリングに出来るだけ職員を同席させて、保護者との現状認識のすり合わせをしている。		・概ね評価をいただいているので、評価を下げないように気を引き締めて、今後も取り組みたい。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	・モニタリングで、家庭、学校やデイでの評価を行い、保護者と職員間の認識のズレがないように、意識しながら作成している。	・はい 13名	〃
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	・出来ている。		〃

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	・状態の悪い子どもや集中力に欠ける時間帯等もあり、難しい場合もあるがその状況で出来る限りのことはしている	・はい 13名	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	・当日のリーダーを中心にして、その日のプログラム立案して、実行している。		・勤務時間等で限られた時間ではあるが、できる限り多くの職員が、参加できるように今後も行いたい。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	・子どもの利用する時間に応じて、学習、運動、お出かけ等飽きさせないように、工夫して支援するように心がけている。	・保護者からはほぼ、全員から評価をいただいている。	・子どもの成長に合わせて、支援がマンネリ化しないように留意したい。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	・子どもたちの理解力や運動能力等に配慮しながら負担にならないように注意している。		・子どもの希望も取り入れながら、子どもたちが楽しめるようにしたい。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・パート職員の出勤の出勤時に合わせ、その日のプログラムや狙いについて、確認している。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・勤務終了時にはなかなか、時間は取れないがライン等で、情報の共有化に努めている。		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・日報等にはできる限り、日々の子どもの状態等を個人別に記録するようにしている。		・全員が集まって議事録をとることの大切さは理解出来るが、日々のその都度の報告、連絡はさらに大切だと認識している。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・家庭、学校、デイでの評価を方向性に反映出来るように、送迎時や学校へのお迎え時にも情報の収集にもつとめている。		・支援計画については、保護者の力は絶対必要なので、納得出来るまで話し合って作成している。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・相談支援事業所や学校等と連携して、担当者会議には、積極的に参加している。		・関係団体との連携は子どもと保護者を守るセイフティネットだと理解している。開催のタイミングも大切だと理解している。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・移行に関して、難しい課題(問題)のある子どもは特に情報共有に努めている。		・対応の難しい子どもや家庭環境に、心配のある子どもに関しては、特に密にしている。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・相談支援事業所等とも連携して、必要により情報提供している。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・コロナ以降、オンライン研修等で実施のことが多く、受講環境が整っていないので、思うようには受講の機会が少ない。		
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・学校等ではあるが、当所では今のところ、実施していない。		・課題としては捉えているが、環境が整っていない。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・夏祭り等の行事に地域住民の招待が考えられるが、招待する人数や場所等の問題があり、もう少し検討したい。		・準備段階としてまず、保護者の招待を先行させたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・基本的アセスメントの時に、重要事項や個人情報の保護、個人情報の使用範囲等の説明に併せて、説明している。	・はい 10名 ・どちらとも言えない 3名	・モニタリングの時に十分に意見交換をして、保護者の意向を汲むようにしているが、温度差があるのかも知れない。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・保護者には丁寧に説明している。	・はい 12名 ・どちらとも言えない 1名	・理解しやすい言葉を選ぶようにしている。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・適任者がなかなかなく、本格的には出来ていないが、関連図書の貸出等には対応するようにしている。	・はい 5名 ・どちらとも言えない 4名 ・いいえ 3名 ・わからない 1名	・場合によりモニタリングの折に、家庭での困りごと等を、ペアレントトレーニングの手法を使って、対応力の向上につながるように、アドバイスしている。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・家庭やデイでの気づきや、成功例や失敗例等を連絡ノートや送迎時のやり取りで共通認識に努めている。	・はい 12名 ・どちらとも言えない 1名	・日ごろから、連携を密にすることに尽きると考えている。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・いつでも相談に応じることは出来る体制は出来ている。	・はい 13名	・日頃のやり取りで、悩み等の有無を連絡ノートや送迎時の会話で感じた場合は、必要により担当者会議を呼びかけることもある。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・現在は出来ていない。	・はい 1名 ・どちらとも言えない 2名 ・いいえ 7名 ・わからない 3名	・保護者がどの程度、必要としているのか把握出来ていない。集まれるメンバーが固定しないか等考える必要もあり、課題も多い。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・体制については入所時に説明している。	・はい 9名 ・どちらとも言えない1名 ・わからない 3名	
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・言葉での会話が難しい子どもは特に、保護者との情報交換で、意思疎通について話合っている	・はい 11名 ・どちらともいえない 2名	・障害を持つ子どもが社会の中に溶け込み、社会の構成員の一人として、自立するための有効な道具だと位置付けている。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・連絡ノートやさくら通信等により、情報の発信やホームページの定期的な更新により行っている。	・はい 11名 ・どちらともいえない 2名	・ホームページについて、良かったら閲覧するように保護者にさらに、周知したい。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・研修等も実施して、取り扱いには十分に留意している。	・はい 13名	・今後も事故のないように留意したい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・室内の掲示や入所の時に、重要事項により説明している。書類には明示してある。	・はい 10名 ・いいえ 1名 ・わからない 1名 ・どちらとも言えない 1名	・次年度以降も、振り返りや行政とも連携してさらに、充実した対策を講じたい。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・火事や地震については実施出来ているが、水害等に関しては、もう少し行政とも相談して精度をあげていきたい。	・はい 8名 ・いいえ 1名 ・わからない 4名 ・どちらとも言えない 1名	・次年度以降も、振り返りや行政とも連携してさらに、充実した対策を講じたい。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	・学校や行政等とのネットワークは出来ている。研修も実施している。情報の共有も職員間で出来ている。		・今後も十分に対処していきたい。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・子どもの安全、職員の安全を阻害する恐れのある場合は、緊急避難の時にはあるかも知れないが、今までには例はない。		・保護者とも良く相談して、子どもと職員の安全に努めたい。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・保護者にしつかり聞き取りをして、情報を職員間で共有して、事故防止を行っている。		・食品の保管庫等にしっかり掲示して事故防止を図りたい。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットの報告は、その都度作成して全員が知るようにして、再発防止に務めている。		・今後も事故防止に注意したい。